

[03_01]九州大学大型計算機センター広報 : 3(1)

<https://doi.org/10.15017/1467966>

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 3 (1), pp.1-55, 1970-02-24. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :

投 書 箱 よ り

センターの受付・返却室に投書箱をおいています。利用者の希望・苦情などを気軽に書いてもらう意図でおかれたこの投書箱に、次のような希望書が入っておいりましたのでセンター側の回答とともにあげてみました。

- ◎ 講義や仕事の関係で、どうしても夕方5時までに計算結果を取りに行けないことがあります。急ぐ場合など、翌朝まで待てないことが多いのですが、夜間に計算結果を受け取る方法はありませんか。

答：センターは利用者から計算依頼をうけ、その結果を返却するまで、利用者のデッキ、リストを責任を持って保管しなければなりませんので、定められた時間（午前9：00～午後5：00）以外は受付は閉鎖します。ただし、特別に依頼をされたジョブのリストだけを廊下の箱にでも入れておくことは考えられないではありません。その際、センターとしては、そのジョブのリストの責任は持ち得ません。どうしても必要な方は、ジョブ番号を明示して受付係に相談してください。

- ◎ CPU時間6分のジョブも、30分のジョブと同様にCジョブとしてあつかわれて、ターン・アラウンド・タイムが長くなるのは不合理だと思います。Cジョブにもランクをつけてください。

答：一般にA、B、Cのジョブ種別は、CPU時間によって区切られているように見えますが、LPの出力枚数、CPの出力枚数もその制限区分になっております。共用ファイル・私用ファイルの使用もこのA、B、Cの各々によって制限がされています。“センター職員の手をどの程度必要とするか”ということを基準にしてジョブ種別を定めています。Aジョブの返却時間が早いのは、CPU時間・LP出力が少なく、CP出力・ファイルのアクセスがなく、センター職員の手数がかからないためです。利用者とセンターに、より合理的な方法をいろいろ検討していますが、現在のところはご了承ください。